

【認知症地域支援推進員】

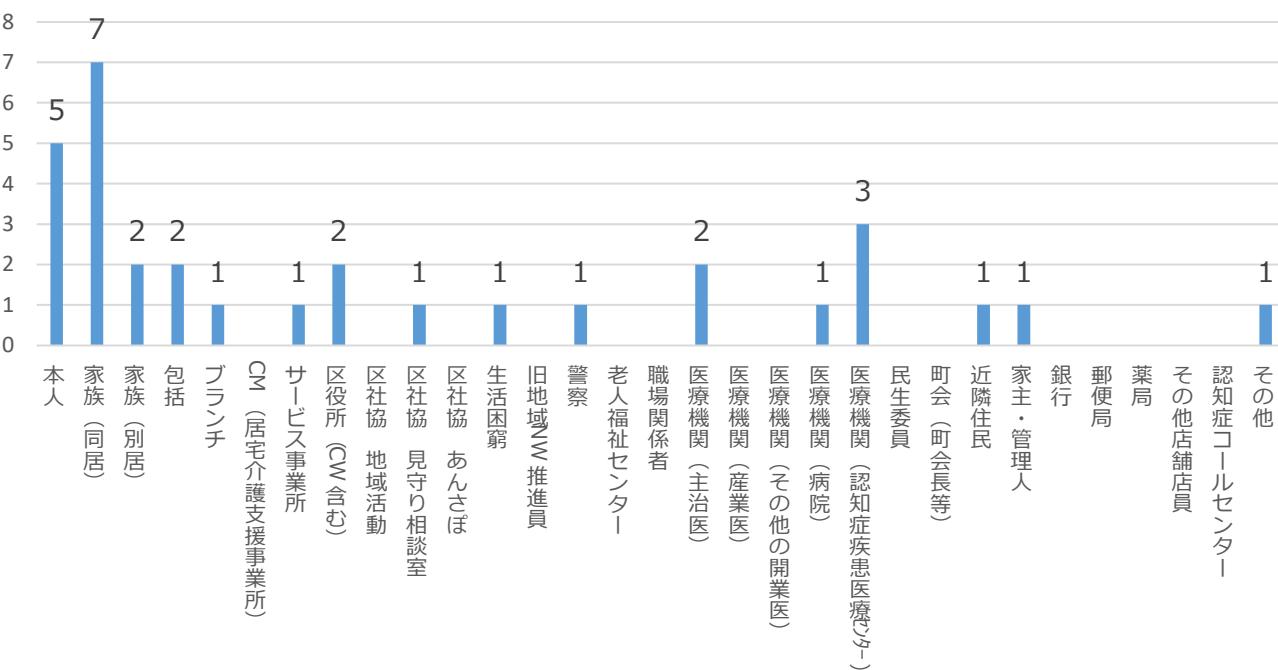
令和3年度 若年性認知症支援対象者 実績集計 (令和3年4月～令和4年1月末)

1. 相談者・相談主訴
2. 性別・年齢・世帯状況・主たる介護者
3. 18歳未満の育児の有無・親の介護の有無
就労状況(介入時・介入後)
4. 主治医・鑑別診断(介入時・介入後)
5. 体障がい者手帳・介護認定(介入時・介入後)
6. 介護保険サービス・インフォーマルサービス(介入時・介入後)

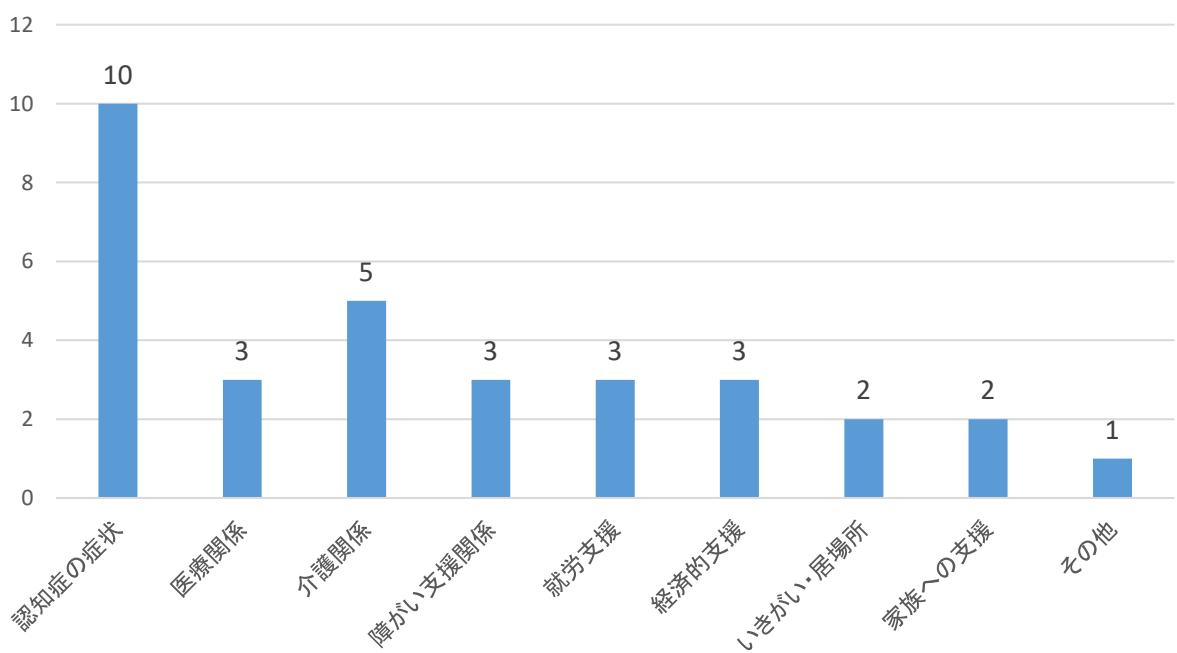
1. 相談者・相談主訴 N=32

相談者

単位:人

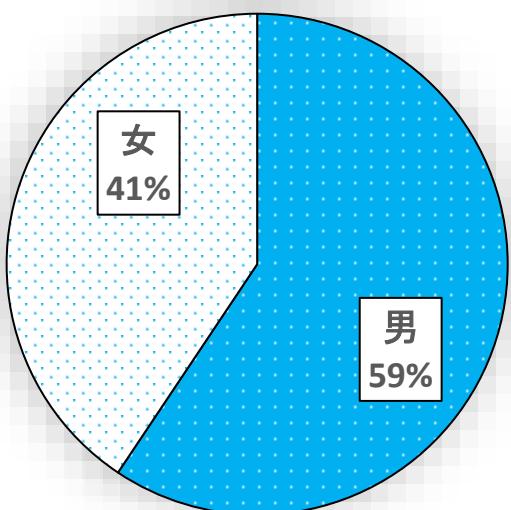


相談主訴

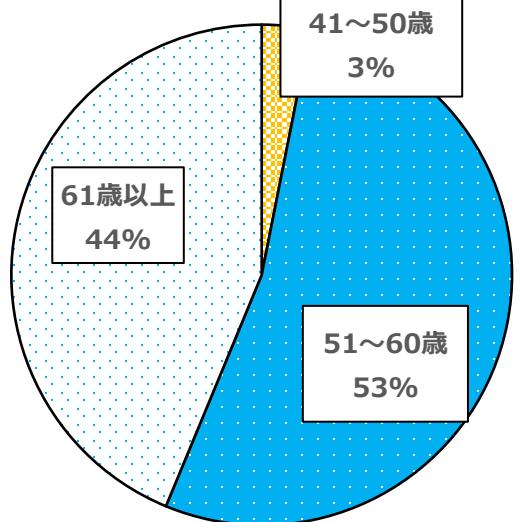


2. 性別・年齢・世帯状況・主たる介護者 N=32

性別



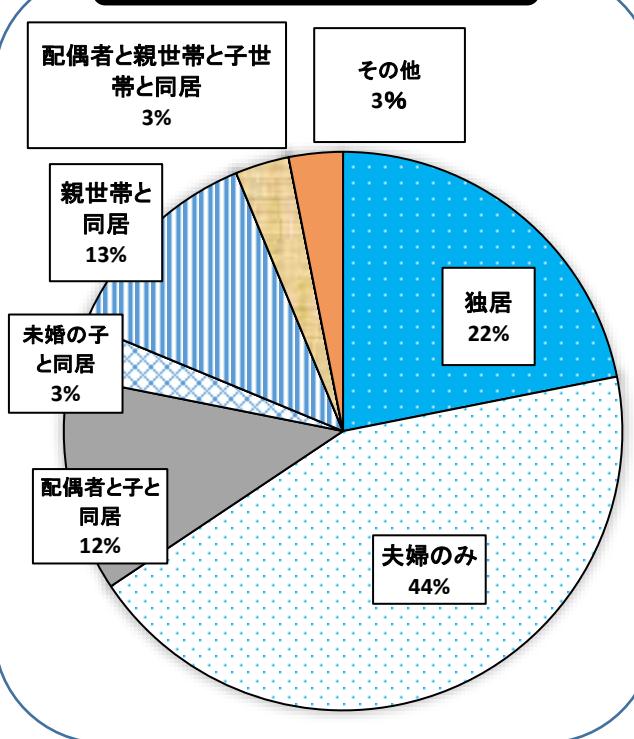
年齢



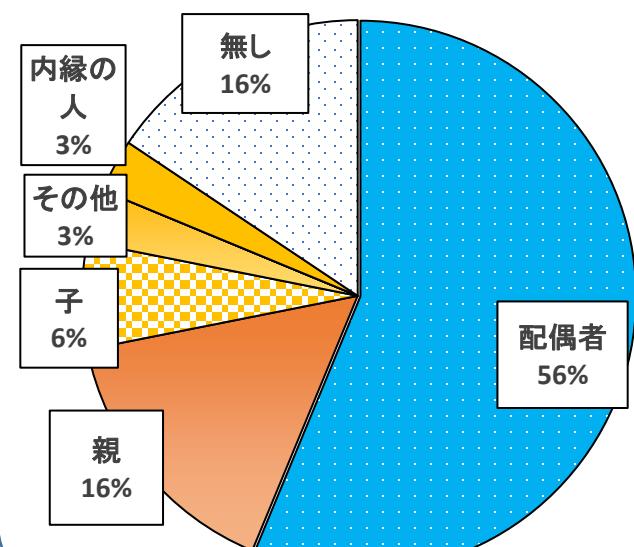
【性別】

認知症初期集中支援チームの訪問支援対象者(男性39%、女性61%)と比較すると、**男性(59%)が女性(41%)よりも多く、若年性認知症は男性に多い特徴**がみられる。

世帯状況



主たる介護者



【世帯状況】

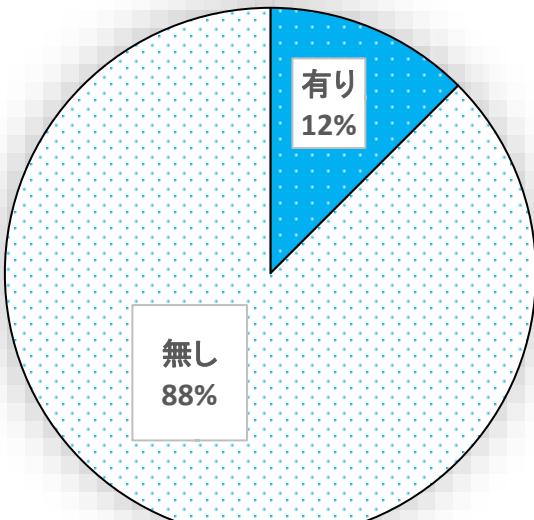
認知症初期集中支援チームの訪問支援対象者(夫婦のみ28%、配偶者と子と同居が5%、独居48%)と比較すると、「夫婦のみ(44%)」「配偶者と子と同居(12%)」が多く、「独居(22%)」は少ない。

【主たる介護者】

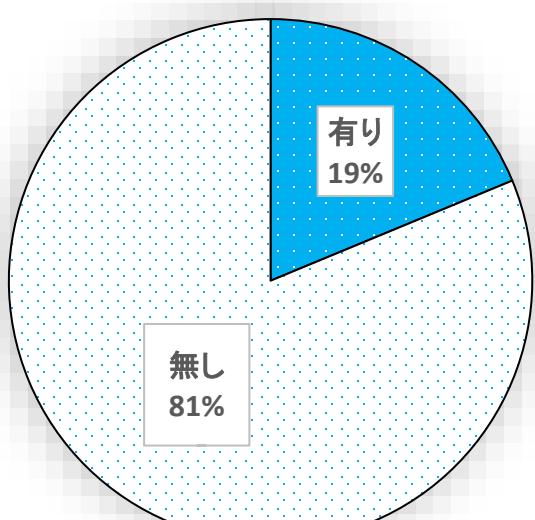
認知症高齢者との違いとして、**主介護者が配偶者(56%)に集中する特徴**がみられる。

3. 18歳未満の育児の有無・親の介護の有無 就労状況(介入時・介入後) N=32

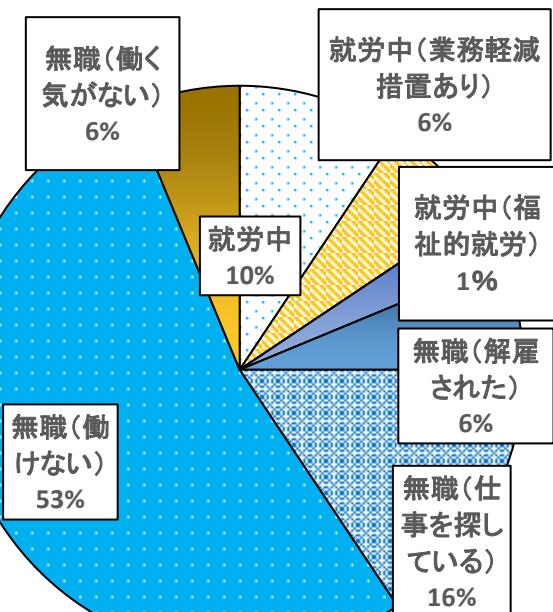
18歳未満の育児の有無



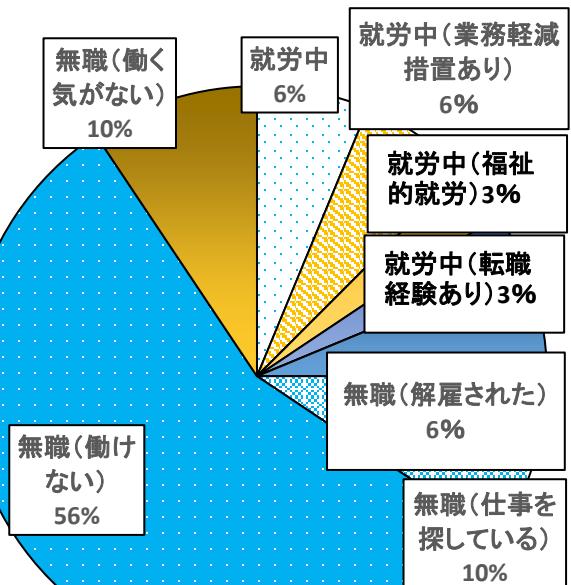
親の介護の有無



就労状況(介入時)

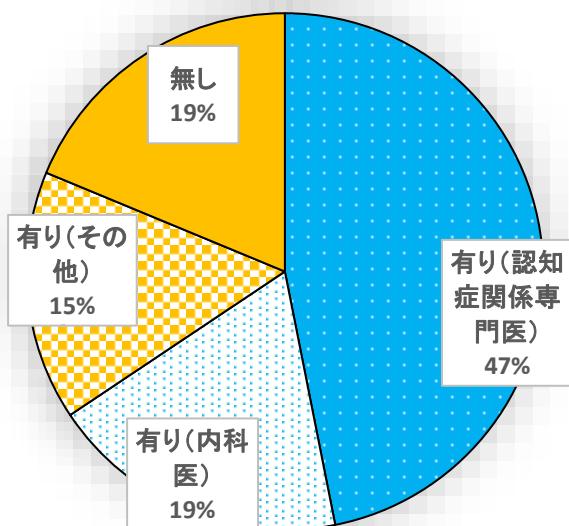


就労状況(介入後)

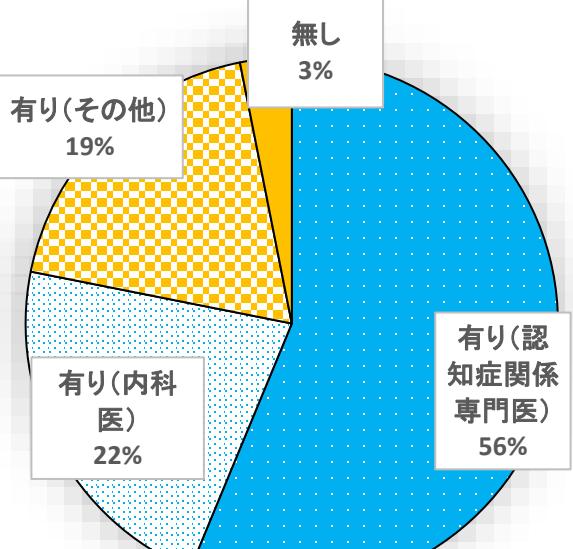


4. 主治医・鑑別診断(介入時・介入後) N=32

主治医(介入時)



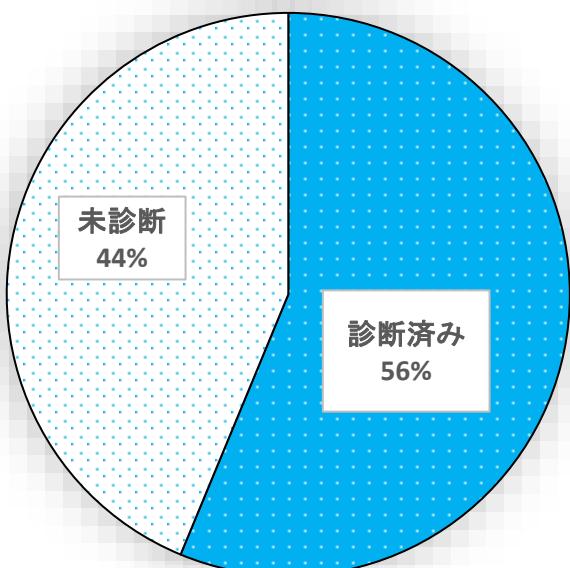
主治医(介入後)



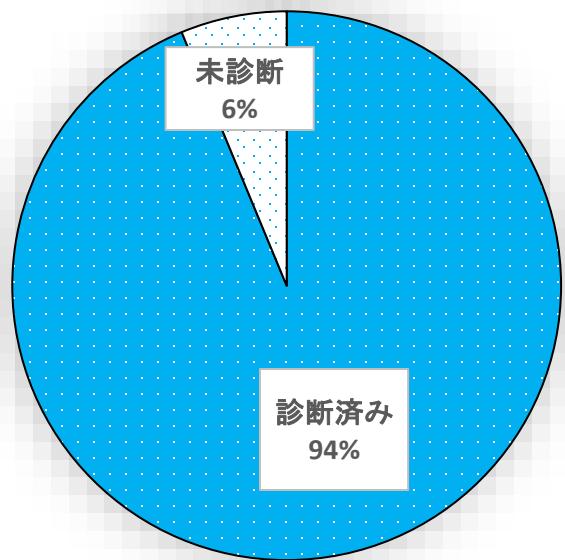
【主治医(介入時)】

介入時、主治医が認知症関係専門医の場合が47%と一番多く、次いで内科医が19%となっている。

鑑別診断(介入時)



鑑別診断(介入後)

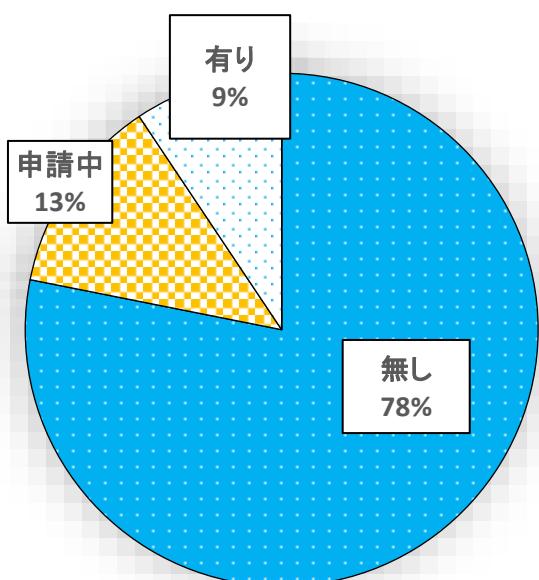


【鑑別診断(介入時)】

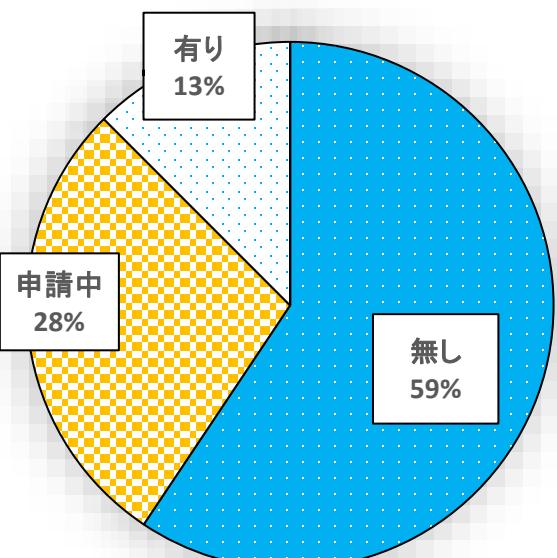
介入時、鑑別診断済みが56%であり、約半数以上を占めている。

5. 精神障がい者手帳・介護認定(介入時・介入後) N=32

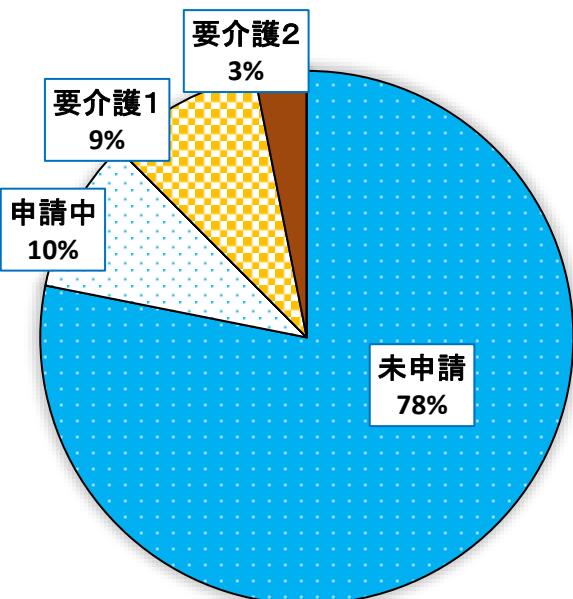
精神障がい者手帳(介入時)



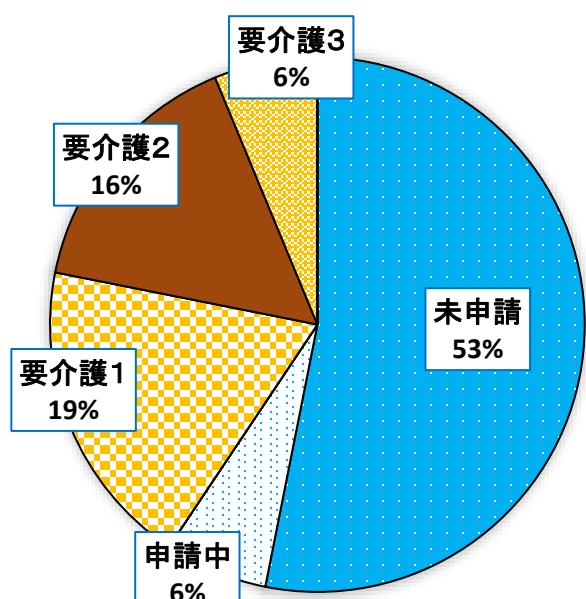
精神障がい者手帳(介入後)



介護認定(介入時)



介護認定(介入後)

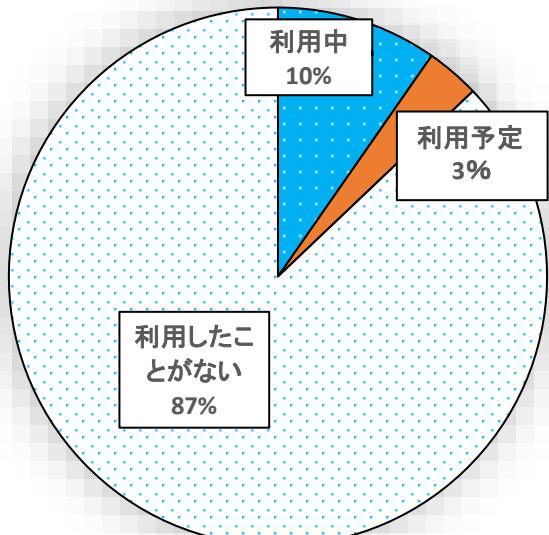


【介護認定(介入後)】

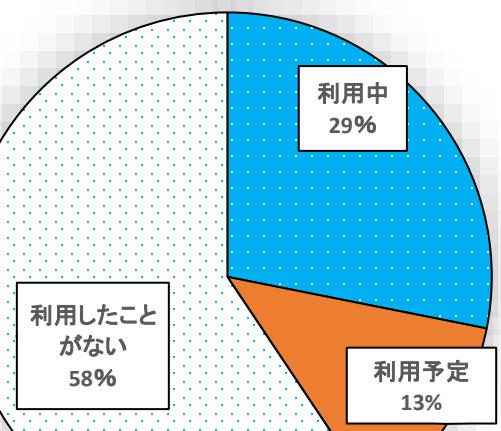
介入後、精神障がい者手帳を取得し、障がい福祉サービスや認知症カフェ等のインフォーマルサービスを利用する場合もあるため、必ずしも介護認定を受けるとは限らないため、未申請が53%となっている。

6. 介護保険サービス・インフォーマルサービス(介入時・介入後) N=32

介護保険サービス(介入時)



介護保険サービス(介入後)



インフォーマルサービス
(介入時)

利用中
3%

利用したことない
97%

インフォーマルサービス
(介入後)

利用中
19%

利用手続き中
9%

利用したことない
72%